



拾ひし神の寸書尺麤救罪もたぬ鴛破り海賊危急の一難不便りあき身を
沖の石迹とて後の古師の錦も疵引へて
人をちやぢり衣服を剥き二回ひたさるか留め
許すの拙言言も仇恋と因果廻る重役女不
生けておくれぬ覚時者よく寐込る旅労を
つるの小櫛の横刺しけうぬか留めさひ刀
未野曙の有り縁慎むべし悪業の天罪
早に一夕話実小懼るくみへよりあき

花源堂誌

勸善
懲惡

讀切講釋

色情と押借の縄を切らね斬との与三良
愛別離苦み命まで渚たよ捨小るの

斬と三郎

小幡代
空

長岡正政

市九一

勸善懲惡 讀切講釋 文庫10-8311-1

早稲田大学図書館蔵／Waseda University Library